

多度地区小中一貫校整備事業についての サウンディング型市場調査の結果を公表します

令和3年3月22日
新たな学校づくり課

この度、令和3年度に予定しています基本設計等の事業者選定に伴う公募に向けた条件を整理するため、公募への参加に意欲のある民間事業者の皆さまに事業目的や公募条件の案を提示し、対話を通じて意向を把握するサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果を公表します。

1. サウンディング型市場調査の経過

令和3年2月5日(金)	実施要領の公表
令和3年2月19日(金)	参加申込の期限
令和3年2月26日(金)～3月5日(金)	対話の実施【参加：14社】

2. 主な対話項目

- ① 事業スケジュールについて
- ② 令和4年度以降の事業方式について
- ③ 公募条件について

3. 対話結果の概要

① 事業スケジュールについて

ア. 令和3年度内の建築・造成設計等のスケジュールについて対話を行った結果、主な内容は以下の通りでした。

建築・造成基本設計は令和3年度内に完了できると思われる。

造成実施設計や開発許可申請の手続きで、もう少し時間が必要ではないか。

令和3年度内に完了するには、いつから業務着手できるかが重要と思われる。

イ. 令和4年度以降の造成、建築工事のスケジュールについて対話を行った結果、主な内容は以下の通りでした。

造成の規模が分からないが、工程は非常に厳しいと思われる。

令和6年度内に工事を収めるには、いかに効率的な造成設計・工事を行うことや工事発注などの手続きを同時並行して行えるかが重要と思われる。

② 令和4年度以降の事業方式について

設計施工一括発注の想定の上で、令和3年度受託者は、令和4年度以降の業務に参加できないが、建築実施設計の内、総合や工事監理、供用開始後維持管理、発注者支援については令和4年度にも受託できる可能性があることについて対話を行った結果、主な内容は以下の通りでした。

基本設計を先行する設計施工一括発注の場合は、実施設計以降に参加できない条件は他自治体でもつけられているものと思われる。

地域や保護者、教職員との対話による設計を進めていく場合、途中で設計者が替わることは円滑に事業が進まない要因になると思われる。

埋蔵文化財包蔵地など、事業工程に不確定要素があることを考えると基本設計からの設計施工一括発注は非常に難しいと思われる。

当事業を推進していくためには施工者のノウハウが必要で、いかに設計へ反映できる仕組みを作れるかが重要になると思われる。

想定している建築実施設計の方式は、当事業に参加することへのデメリットにもなりえるため、方式は再度検討しても良いのではないかと。

設計施工一括発注を想定している趣旨を踏まえると、E C I方式の方が当事業を円滑に進めるには良いと思われる。

③ 公募条件について

公募への参加条件として、過去10年の内に延べ面積10,000㎡の学校施設設計、開発区域面積10,000㎡の造成設計、住民参加型ワークショップの開催、民間活力導入可能性や事業発注の発注者支援の各種実績を求めることについて対話を行った結果、主な内容は以下の通りでした。

想定規模で問題ないと思われる。

当事業の規模や敷地条件を考えると、計画と同規模程度の条件としても良いと思われる。

技術者への実績については、年数の幅を広げることや多くの小学校や中学校の実績が対象となる規模まで下げると、当該事に適した経験を持つものを配置しやすい。

4. サウンディング型市場調査の結果を踏まえて

様々な分野にわたる数多くの事業者の皆様から、様々なご提案・ご意見をいただきました。いただいた貴重なご提案・ご意見を参考に発注に向け、以下の視点で条件を整理していきたいと考えています。

- ・ 対話時に想定していました事業方式は見直しを行います。
当事業は、計画地の状況などから、過大な建設費とならないのか、開校目標年度に向け円滑な事業進捗がはかれるのか、などの課題があり、それらを解決するため設計者や施工者のノウハウを最大限活用できる事業方式について、公募開始までに整理を行います。
- ・ 当事業が魅力ある学校づくりとなるため、幅広くかつ、多くの民間事業者の方にご参加いただける公募条件となるよう整理を行います。

なお、事業者の選定手続きは、4月から公募を開始し、5月末までに優先交渉権者の選定を行うことを目指します。